

空 ^ら ^か ^に 眠 ^て 下 ^さ せ

道 ^ち ^は

繰 ^返 し ^ま せ ^ぬ か ^ら

南 ^山 

Let all the Souls here rest in Peace;
For we shall not repeat the Evil.

Tadayoshi Saika 

の存在の重きおなしていた。原爆によつて世界的広島となつた本市は、新しい意義を有する世界的な文化都市、平和都市として建設する事が復興の大眼目である。この理想の線に添うて別項の如き各般の計畫が進められるに至つた。

特に昭和二十年八月六日の原子爆弾が、平和への直接原因となつたことを永遠に記念するため、毎年この日を廣島市の平和記念日と定め、戦災死者に對して「けいけん」の至情をさしげると共に、廣島市民が、平和のバイオニヤとして、人類に貢獻する決意を新たにするための聖なる祭典を催おすことになつてゐる。今年も慈仙寺鼻の平和廣場において、新築の平和塔を中心に市民が集り、平和の鐘を打ちならすと共に、次のような平和宣言を市長が朗讀した。マツカーサー元帥よりは、特にメッセーヂが送られた。而してこの日の行事は、全世界に異常の反響をよび起し、アメリカにおいても、これに呼應して廣島デーが催され、同時に世界同胞會議準備會が設立せられ、その第一回地方宣傳會議を來春廣島で開くとの提議がもたらされてゐる。

平 和 宣 言

本日歴史的な原子爆弾投下二周年の記念日を迎え、われら廣島市民は、いまこの廣場に於て嚴肅に平和祭の式典をあげ、われら市民の熱烈なる平和愛好の信念をひれきし、もつて平和確立への決意を新にしようと思ふ。

昭和二十年八月六日は廣島市民にとりまことに忘れることのできない日であつた。この朝投下された世界最初の原子爆弾によつて、わが廣島市は一瞬にして潰滅に歸し、十數万の同胞はその尊き生命を失ひ、廣島は暗黒の死の都と化した。しかしながらこれが戦争の繼續を斷念させ、不幸な戦を終結に導く要因となつたことは不幸中の幸であつた。この意味に於て八月六日は世界平和を招來せしめる機縁を作つたものとして世界人類に記憶されなければならない。われらがこの日を記念して無限の苦惱を抱きつつ嚴肅な平和祭を執行しようとするのはこのためである。けだし戦争の慘苦と罪惡とを最も深く體驗し自覺する者のみが苦惱の極致として戦争を根本的に否定し、最も熱烈に平和を希求するものであるから。

又この恐るべき兵器は恒久平和の必然性と眞實性とを確認せしめる「思想革命」を招來せしめた。すなわちこれによつて原子力をもつて争う世界戦争は人類の破滅と文明の終末を意味するといふ眞實を世界の人々に明白に認識せしめたからである。これこそ絶對平和の創造であり、新しい人生と世界の誕生を物語るものでなくてはならない。われわれは何か大事にあつた場合深い反省と熟慮を加えることによつて、ここから新しい眞理と道を發見し、新しい生活を營むことを知つてゐる。しかりとすれば今われわれが爲すべきことは全身全靈をあげて平和への道を邁進し、もつて新しい文明へのさきがけとなることではなければならない。

この地上より戦争の恐怖と罪惡とを抹殺して眞實の平和を確立しよう。

永遠に戦争を放棄して世界平和の理想を地上に建設しよう。

ここに平和塔の下、われらはかくの如く平和を宣言する。

昭和二十二年八月六日

広島平和祭協會長

広島市長 濱井信三

連合軍總司令官 マッカーサー元帥のメッセージ

二年前次第に高まりつゝある暴虐の暗影が世界を覆うていた。人々も民族も各大陸も戦いの結着をつげようと、必死になつてもがいていた。その時広島の上に今迄にない強力な武器が投下された。かくて戦争はそれが致命的であり破壊的である點に於て、さうして亦戦争が人間の理性や論理や目的理想などに對する戰である點に於て新たな意味をもつことになつた。即ちあの運命の日の諸々の苦惱は、凡ての民族の凡ての人々に對する警告として役立つ。それは戦争の破壊性を助長する爲に、自然力を使用することは益々進歩して、遂には人類を絶滅し、現代世界の物質的構造物を破壊する様な手段が手に得られる迄發達するだらうと云う警告である。これが広島の教訓である。この教訓が等閑に附せられないよう、神よみそなはせたまへ。

千九百四十七年八月六日

連合軍最高司令官

ダグラス マッカーサー